

福山市民病院 臨床検査科	
文書名	検査案内「院内検査項目一覧」 非管理文書

FCH-MNL-00017
Page 1 / 75

検査案内

(一次サンプル採取マニュアル)

「院内検査項目一覧」

文書番号：FCH-MNL-00017

第 10 版

福山市民病院 臨床検査科

改版/レビュー履歴

版数	使用開始日	改版/レビュー事項
1	2021年6月28日	第1版発行 「検査案内」より細分化して発行
2	2021年12月20日	第2版発行 1.生化学検査一覧の採取・提出条件変更 尿素窒素（穿刺液）、クレアチニン（穿刺液）追加 1.5 寒冷凝集素 基準値変更 6.2 抗酸菌検査 結核菌・MAC 遺伝子検査の検査方法追加 6.4 迅速、スクリーニング検査 SARS-CoV-2 遺伝子(PCR)検査の検査方法追加
3	2022年6月10日	第3版発行 文書管理者・発行者変更 1.1 酵素関連物質 CK-MB 1.4 糖質関連物質、生体微量元素、負荷試験、その他 ヘモグロビン A1c 1.5 免疫グロブリン、補体、血漿蛋白等 間接クームス 1.7 腫瘍関連検査、ホルモン関連検査 TSH レセプター抗体 (TRAb) 5 輸血関連検査 クロスマッチ用
4	2022年12月28日	第4版発行 1.3 低分子窒素化合物、電解質 尿素窒素(UN)、クレアチニン(CRE) 3.1 尿沈渣 検査方法 備考に追記 4.1 プロトロンビン時間 基準範囲 6.3 真菌検査 6.4 迅速、スクリーニング検査

		第5版発行 1.1 酵素関連物質 AST、ALT、LD、ALP、LAP、γ-GT、ChE、AMY、P-AMY、CK、CK-MB、 1.2 蛋白・膠質反応、脂質関連物質、生体色素 微量蛋白(μ-TP)、 1.3 低分子窒素化合物、電解質 NH3、UN、CRE、UA、Na、K、Cl、Ca、IP、Mg 1.4 糖質関連物質、生体微量元素、負荷試験、その他 GLU、GTT、ターゲス 1.5 免疫グロブリン、補体、血漿蛋白等 IgG、IgA、IgM、RF、sIL-2R 1.6 感染症関連 マイコプラズマ IgM、PCT、SARS-CoV-2 抗原定量 1.7 腫瘍関連検査、ホルモン関連検査 高感度トロポニンI、TRAb、Anti-Tg、Anti-TPO、Tg 3.1 尿沈渣 検査方法 備考に追記 6.2 抗酸菌検査 備考追記 6.4 迅速・スクリーニング検査 O-157・SARS-CoV-2 抗原 削除
5	2023年6月15日	1.3 低分子窒素化合物、電解質 Ca、Mg 1.6 感染症関連 マイコプラズマ IgM 2.血液ガス・薬物検査一覧 フェニトイント、バルプロ酸、ジゴキシン、 ベンコマイシン、テオフィリン 3.1 尿一般、便、寄生虫 便中白血球、便脂肪 備考に追記 3.2 穿刺液(胸水・腹水・心嚢水)、関節液、髄液 関節液検査 備考に追記 5.輸血関連検査一覧 輸血前保存用：備考追記 7.1 細胞診検査 一部修正
6	2023年12月5日	

		第7版発行 1.1 酵素関連物質 P-AMY 1.2 蛋白・膠質反応、脂質関連物質、生体色素 μ -TP（髄液）の追加可能時間修正 1.3 低分子窒素化合物、電解質 カリウム（K） 3.1 尿一般、便、寄生虫 一部修正 4.1 血液一般・形態検査、凝固一般検査、凝固・線溶系検査 凝固検査の採取容器名修正 一部修正、備考に追記 5.輸血関連検査一覧 一部修正、備考の追加 6.2 抗酸菌検査 PCR-CE 法 削除 6.4 迅速・スクリーニング検査 マイコプラズマ抗原 削除 呼吸器感染症スクリーニング 髄膜炎スクリーニング 追加 7.1 細胞診検査 一部修正
7	2024年5月29日	第8版発行 1.5 免疫グロブリン・補体・血漿タンパク一部変更 1.6 感染症関連一部変更 1.7 腫瘍関連検査・ホルモン関連検査一部変更 2.血液ガス・薬物検査一覧一部変更、メトトレキサート追加
8	2024年9月11日	第9版発行 所要日数を項目により所要時間へ変更 2.血液ガス・薬物検査一覧 一部変更 4.1 血液一般・形態検査、凝固一般検査、凝固・線溶系検査 一部変更
9	2025年6月19日	第10版発行 1.2 蛋白・膠質反応、脂質関連物質、生体色素一部変更 総コレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール
10	2025年9月17日	

		<p>1.3 低分子窒素化合物、電解質一部変更 Cys-C</p> <p>1.5 免疫グロブリン・補体・血漿タンパク一部変更・追加 β2マイクログロブリン (β2-MG)、IgG、IgA、IgM、RF、KL-6、</p> <p>1.7 腫瘍関連検査・ホルモン関連検査一部追加 sIL-2R</p> <p>3.1 尿一般、便、寄生虫 尿沈渣 測定不可条件、最低量を変更</p> <p>4.1 血液一般・形態検査、凝固一般検査、凝固・線溶系検査 プロトロンビン時間 (PT)・プロトロンビン時間国際標準比 (PT-INR) の追加可能時間を変更</p> <p>6.1 一般細菌検査 培養・同定 備考追加</p>
--	--	---

目 次

1.生化学検査一覧	7
1.1 酵素関連物質	7
1.2 蛋白・膠質反応、脂質関連物質、生体色素	11
1.3 低分子窒素化合物、電解質	14
1.4 糖質関連物質、生体微量元素、負荷試験、その他	22
1.5 免疫グロブリン、補体、血漿蛋白等	26
1.6 感染症関連	30
1.7 腫瘍関連検査、ホルモン関連検査	33
2.血液ガス・葉物検査一覧	38
3.一般検査一覧	42
3.1 尿一般、便、寄生虫	42
3.2 穿刺液(胸水・腹水・心嚢水)、関節液、髄液	47
3.3 その他(鼻汁好酸球、精液、アブト試験)	49
4.血液学的検査一覧	51
4.1 血液一般・形態検査、凝固一般検査、凝固・線溶系検査	51
4.2 骨髄検査	60
5.輸血関連検査一覧	61
6.微生物関連検査一覧	63
6.1 一般細菌検査	63
6.2 抗酸菌検査	66
6.3 真菌検査	67
6.4 迅速、スクリーニング検査	68
7.病理関連検査一覧	72
7.1 細胞診検査	72
7.2 病理組織検査	74

※採取容器のところにある「番号」は別冊「採血管・容器一覧」に掲載している番号です（倉庫で管理）

※「採取・提出条件」については、通常採血、通常採取と異なる場合、必要な処置がある場合のみ記載しています。

1.生化学検査一覧

1.1 酵素関連物質

■ 至急・時間外測定対象項目

検査項目	材料	検体量 (必要最 小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器:番号)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要 時間	※採取・提 出条件	追加可能 時間	備考
アスパラギン酸アミノ トランスフェラーゼ (AST)	血清	0.2 mL	青スピッツ 8 mL ①	冷蔵	JSCC 標準化 対応法	13 U/L~30 U/L	該当なし	至急： 1 時間 以内		4 日-7 日 間	溶血の場合、高値に なります。
アラニンアミノ トランスフェラーゼ (ALT)	血清	0.2 mL	青スピッツ 8 mL ①	冷蔵	JSCC 標準化 対応法	男性：10 U/L~42 U/L 女性：7 U/L~23 U/L	該当なし	通常： 1 時間 ～ 2 時間		4 日-7 日 間	
乳酸脱水素酵素 (LD)	血清	0.2 mL	青スピッツ 8 mL ①	冷蔵	IFCC 標準化 対応法	124 U/L~222 U/L	該当なし			4 日-7 日 間	溶血の場合、高値に なります。
	穿刺液		滅菌スピッツ ⑩6			参考値					

検査項目	材料	検体量 (必要最 小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器:番号)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要 時間	※採取・提 出条件	追加可能 時間	備考
アルカリホスファターゼ(ALP)	血清	0.2 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	IFCC 標準化 対応法	38 U/L~113 U/L	該当なし			4日-7日 間	
ロイシンアミノペプチダーゼ (LAP)	血清	0.2 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	L-ロイシル-p-ニトロアニリド基質法	30 U/L~70 U/L	該当なし			4日-7日 間	
γ-グルタミルトランスペプチダーゼ (γ-GT)	血清	0.2 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	JSCC 標準化 対応法	男性: 13 U/L ~ 64 U/L 女性: 9 U/L ~ 32 U/L	該当なし	至急: 1時間 以内		4日-7日 間	
コリンエステラーゼ (ChE)	血清	0.2 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	JSCC 標準化 対応法	男性: 240 U/L ~ 486 U/L 女性: 201 U/L ~421 U/L	該当なし	通常: 1時間 ~ 2時間		4日-7日 間	
アミラーゼ (AMY)	血清	0.2 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	JSCC 標準化 対応法	44 U/L~132 U/L	該当なし			4日-7日 間	
	穿刺液		滅菌スピツ ⑩6			参考値				当日	

検査項目	材料	検体量 (必要最小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器:番号)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要 時間	※採取・提 出条件	追加可能 時間	備考		
	随时尿		尿コップ ⑩9 滅菌スピツツ ⑩6			50 U/L～500 U/L				4日-7日 間			
	蓄尿		滅菌スピツツ ⑩6			設定なし							
P型アミラーゼ (P-AMY)	血清	0.2 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	免疫阻害法	16 U/L～52 U/L	該当なし	至急： 1時間 以内	4日-7日 間	4日-7日 間			
	穿刺液		滅菌スピツツ ⑩6			参考値							
	随时尿		尿コップ ⑩9 滅菌スピツツ ⑩6			設定なし		通常： 1時間 ～ 2時間	4日-7日 間				
	蓄尿		滅菌スピツツ ⑩6										
クレアチンキナーゼ (CK)	血清	0.2 mL	青スピツツ 8 mL	冷蔵	JSCC 標準化 対応法	男性：59 U/L～ 248 U/L	該当なし		4日-7日 間				

検査項目	材料	検体量 (必要最 小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器:番号)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要 時間	※採取・提 出条件	<u>追加可能 時間</u>	備考
			①			女性: 41 U/L ~ 153 U/L					
CK-MB 心筋由来(CK)	血清	0.2 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	ラテックス比濁 法	5.0 ng/mL 以下	該当なし		4 日-5 日 間		

1.2 蛋白・膠質反応、脂質関連物質、生体色素

■ 至急・時間外測定対象項目（1時間）

検査項目	材料	検体量 (必要最小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要 時間	採取・提出条 件	追加可 能時間	備考
総蛋白(TP)	血清	0.2 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	ビウレット 法	6.6 g/dL~8.1 g/dL	該当なし	至急： 1時間 以内		4日- 7日間	
	穿刺液		滅菌スピツ ⑩6			参考値				当日	
アルブミン(ALB)	血清	0.2 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	BCP 改良法	4.1 g/dL~5.1 g/dL	該当なし	通常： 1時間 ~ 2時間		4日- 7日間	
	穿刺液		滅菌スピツ ⑩6			参考値				当日	
A/G 比	血清	-	-	-	TP, ALB より演算	1.32 ~2.23	該当なし		-	A/G 比=ALB/(TP-ALB)	
微量蛋白(μ-TP)	隨時尿	0.2 mL	尿コップ ⑩9 滅菌スピツ ⑩6	冷蔵	ピロカーボルツ ド法	設定なし	0.15 g/gCr 未満 (尿中 Cr との比)		なるべく早朝 尿で測定	当日	

	蓄尿		滅菌スピツ(106)			0.02 g/day~0.12 g/day	該当なし		24時間の蓄尿後、提出する。尿量を記載した用紙とともに提出。		
			滅菌スピツ(106)	凍結		設定なし	8 mg/dL~43 mg/dL		1年		
総コレステロール(T-CHO)	血清	0.2 mL	青スピツ8 mL①	冷蔵	コレステロール酸化酵素法	142 mg/dl~248 mg/dL	該当なし		至急：1時間以内	4日~7日間	
中性脂肪(TG)	血清	0.2 mL	青スピツ8 mL①	冷蔵	FG 消去酵素法	男性：40 mg/dl~234 mg/dL 女性：30 mg/dl~117 mg/dL	該当なし			4日~7日間	
	穿刺液		滅菌スピツ(106)			参考値		通常：1時間~2時間	当日		
HDL-コレステロール(HDL)	血清	0.2 mL	青スピツ8 mL①	冷蔵	選択的抑制法(直接法)	男性：38 mg/dl~90 mg/dL 女性：48 mg/dl~103 mg/dL		該当なし		4日~7日間	

LDL-コレステロール (LDL)	血清	0.2 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	選択的可溶化法 (直接法)	65 mg/dL~ 163 mg/dL	該当なし		4 日- 7 日間	中性脂肪が 1500 mg/dL の時、LDL-コレステロールは参考値
総ビリルビン(T-BIL)	血清	0.2 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	バナジン酸 酸化法	0.4 mg/dL~ 1.5 mg/dL	該当なし	至急： 1 時間 以内	当日	光により分解されるため翌日以降の追加は原則不可（追加する場合は参考値とコメント入力）
	穿刺液		減菌スピツ ⑩6			参考値				
直接ビリルビン(D-BIL)	血清	0.2 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	バナジン酸 酸化法	0.4 mg/dL 以下	該当なし	通常： 1 時間 ~ 2 時間	当日	光により分解されるため翌日以降の追加は原則不可（追加する場合は参考値とコメント入力）
	穿刺液		減菌スピツ ⑩6			参考値				

1.3 低分子窒素化合物、電解質

検査項目	材料	検体量 (必要最小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断 値	所要 時間	採取・提出条 件	<u>追加可 能時間</u>	備考
アンモニア(NH ₃)	血液	10 μL	紺専用容器 2 mL ④	冷蔵	プロモフェ ノールブル ー を用いる指 示薬法	12 µg/dL~ 66 µg/dL	該当なし	至急： 15 分 以内 通常： 20 分 以内	採血後氷水に 入れ、速やか に検査室に提 出。	不可	CBC 検体 (2mL・500 µL) でも代用可。 保存検体からの NH ₃ 再測定 は不可。
尿素窒素(UN)	血清	0.2 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	ウレアーゼ- GLDH 法	8.0 mg/dL~ 20.0 mg/dL	該当なし	至急： 1 時間 以内	4 日- 7 日間		
	穿刺液		滅菌スピツ ⑩6			参考値				当日	
	隨時尿		尿コップ ⑩9 滅菌スピツ ⑩6			設定なし		通常： 1 時間 ~ 2 時間	4 日-7 日間		
	蓄尿		滅菌スピツ ⑩6			6.5 g/day ~ 13.0 g/day			24 時間の蓄尿 後、提出する。尿		

検査項目	材料	検体量 (必要最小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断 値	所要 時間	採取・提出条 件	追加可 能時間	備考	
									量を記載した用 紙とともに提出。			
クレアチニン(CRE)	血清	0.2 mL	青スピッツ 8 mL ①	冷蔵	酵素法	男性：0.65 mg/dL～ 1.07 mg/dL 女性：0.46 mg/dL～ 0.79 mg/dL	該当なし	至急： 1 時間 以内	4 日～ 7 日間	4 日～ 7 日間		
	穿刺液		滅菌スピッツ ⑩6			参考値				当日		
	隨時尿		尿コップ ⑩9 滅菌スピッツ ⑩6			設定なし		通常： 1 時間 ～ 2 時間	24 時間の蓄尿 後、提出する。 尿量を記載し た用紙ととも に提出。			
	蓄尿		滅菌スピッツ ⑩6			0.50 g/day～ 1.50 g/day			4 日～ 7 日間			

検査項目	材料	検体量 (必要最小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断 値	所要 時間	採取・提出条 件	追加可 能時間	備考
推算 GFR(eGFR)	-	-	-	-	血清 CRE より演算	設定なし	該当なし			-	年齢が 18 歳～120 歳の場合報告 男性:推算 GFR=194×CRE ^{-1.094} × 年齢 ^{-0.287} 女性:推算 GFR=194×CRE ^{-1.094} × 年齢 ^{-0.287} ×0.739
シスタチン C (Cyc-C)	血清	0.5 ml	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	ラテックス 凝集免疫学 的測定法	男性 : 0.58 mg/L～ 0.98 mg/L 女性 : 0.52 mg/L～ 0.88 mg/L	該当なし	至急： 1 時間	4 日～ 7 日間		
尿酸(UA)	血清	0.2 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	酵素法 (ウリカーゼ・POD 法)	男性 : 3.7 mg/dL～ 7.8 mg/dL 女性 : 2.6 mg/dL～ 5.5 mg/dL	該当なし	通常： 1 時間 ～ 2 時間	4 日～ 7 日間		
	隨時尿		尿コップ ⑩⑨ 滅菌スピツ ⑩⑥			設定なし				3 日間	
	蓄尿		滅菌スピツ			0.4 g/day～			24 時間の蓄尿		

検査項目	材料	検体量 (必要最小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断 値	所要 時間	採取・提出条 件	追加可 能時間	備考
			(106)			0.8 g/day			後、提出する。尿 量を記載した用 紙とともに提出。		
ナトリウム(Na)	血清	0.2 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	イオン選択 電極法	138 mmol/L~ 145 mmol/L	該当なし		4日- 7日間	採血後全血のまま放置すると 血清濃度は低下する。	
	隨時尿		尿カップ (109) 滅菌スピツツ (106)			設定なし					
	蓄尿		滅菌スピツツ (106)			70 mmol/ day~ 250 mmol/day			24 時間の蓄尿 後、提出する。尿 量を記載した用 紙とともに提出。	当日	
カリウム(K)	血清	0.2 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	イオン選択 電極法	3.6 mmol/L~ 4.8 mmol/L	該当なし	至急： 1時間 以内	4日- 7日間	溶血の場合、高値になる。	
	血漿		緑ヘパリン 10 mL			参考値		通常：		不可	

検査項目	材料	検体量 (必要最小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断 値	所要 時間	採取・提出条 件	追加可 能時間	備考	
尿中クロール(Cl)	随时尿	0.2 mL	(56)	冷蔵	イオン選択 電極法		設定なし	1 時間 ～ 2 時間		当日		
			尿コップ (109) 滅菌スピッツ (106)									
	蓄尿		滅菌スピッツ (10)			25.0 mmol/day～ 100.0 mmol/day		24 時間の蓄尿 後、提出する。尿 量を記載した用 紙とともに提出。				
クロール(Cl)	血清		青スピッツ 8 mL (1)			101 mmol/L～ 108 mmol/L	該当なし	至急： 1 時間 以内		4 日～ 7 日間	採血後全血のまま放置すると 血清濃度は増加する。	
	随时尿		尿コップ (109) 滅菌スピッツ (106)			設定なし		通常： 1 時間 ～ 2 時間		当日		
			滅菌スピッツ			70 mmol/day～		24 時間の蓄尿				

検査項目	材料	検体量 (必要最小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断 値	所要 時間	採取・提出条 件	追加可 能時間	備考
			(106)			250 mmol/day			後、提出する。尿 量を記載した用 紙とともに提出。		
カルシウム(Ca)	髓液	0.2 mL	青スピツ 8 mL ①	凍結	酵素法	8.8 mg/dL~ 10.1 mg/dL	該当なし		4 日· 7 日間		
	血清										
	隨時尿		尿コップ (109) 滅菌スピツ (106)	冷蔵		設定なし					
	蓄尿		滅菌スピツ (106)			0.10 g/day ~ 0.20 g/day			24 時間の蓄尿 後、提出する。尿 量を記載した用 紙とともに提出。		
無機リン(IP)	血清	0.2 mL	青スピツ 8 mL	冷蔵	酵素法	2.7 mg/dL~ 4.6 mg/dL	該当なし	至急： 1 時間	4 日· 7 日間		

検査項目	材料	検体量 (必要最小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断 値	所要 時間	採取・提出条 件	追加可 能時間	備考
			① 尿コップ ⑩⑨ 滅菌スピツツ ⑩⑥			設定なし		以内 通常： 1 時間 ～ 2 時間			
	随时尿		滅菌スピツツ ⑩⑥			0.4 g/day～ 0.8 g/day		24 時間の蓄尿 後、提出する。尿 量を記載した用 紙とともに提出。			
	蓄尿										
マグネシウム (Mg)	血清	0.2 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	酵素法	1.8 mg/dL～ 2.4 mg/dL	該当なし	2 日～ 3 日間			
	随时尿		尿コップ ⑩⑨ 滅菌スピツツ ⑩⑥			設定なし					
	蓄尿		滅菌スピツツ ⑩⑥			0.02 g/day～ 0.17 g/day					

検査項目	材料	検体量 (必要最 小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断 値	所要 時間	採取・提出条 件	追加可 能時間	備考
									とともに提出。		

 時間外測定対象項目

1.4 糖質関連物質、生体微量元素、負荷試験、その他

検査項目	材料	検体量 (必要最 小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断 値	所要 時間	採取・提出条 件	<u>追加可 能時間</u>	備考	
グルコース 糖 (GLU)	血漿	0.3 mL	灰色 2 mL (NaF入り) ⑥	冷蔵	ヘキソ キナーゼ UV 法	73 mg/dL~ 109 mg/dL	至急： 1 時間 以内 通常： 1 時間 ~ 2 時間	該当なし	食事による影 響を受けるの で、空腹時採 血とする。	2 日間		
	血清	0.2 mL	青スピツツ 8 mL ①			参考値				当日		
	穿刺液		滅菌スピツツ ⑩6			設定なし				4 日- 7 日間		
	髄液		尿コップ ⑩9			0.04 g/day~ 0.09 g/day						
	随时尿		滅菌スピツツ ⑩6									
	蓄尿		滅菌スピツツ ⑩6									

検査項目	材料	検体量 (必要最 小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断 値	所要 時間	採取・提出条 件	<u>追加可 能時間</u>	備考	
ヘモグロビン A1c (HbA1c)	血液	2.0 mL	灰 2 mL (NaF入り) ⑥	冷蔵	酵素法	NGSP 値： 4.9 %~6.0 %	該当なし	至急： 1 時間 以内 通常： 1 時間 ~ 2 時間		4 日- 7 日間	測定済 CBC 検体でも代用可	
血清鉄(Fe)	血清	0.2 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	Nitoroso- PASP 法	40 μg/dL~ 188 μg/dL	該当なし			4 日- 7 日間		
総鉄結合能(TIBC)	血清	0.2 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	血清鉄・UIBC より演算	男性：253 μg/dL~ 365 μg/dL 女性：246 μg/dL~ 410 μg/dL	該当なし			4 日- 7 日間	TIBC=Fe+UIBC	
24 時間 CCR <体表面積補正>	血清	0.2 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	酵素法	62.0 mL/min~ 108.0mL/min	該当なし		24 時間の蓄尿 後、提出する。 身長・体重・尿 量を記載した 用紙とともに 提出。	-		
24 時間クレチニン クリアランス	蓄尿	0.2 mL	滅菌スピツ ⑩6			57.0 mL/min~ 78.0mL/min						
糖負荷試験 (GTT)	血漿	0.3 mL	灰色 2 mL GTT (NaF入り)	冷蔵	ヘキソ キナーゼ UV 法	(負荷前) 73 mg/dL~ 109 mg/dL	該当なし		時間種を指定 する。	-	30 分、60 分、90 分、120 分、180 分より選択可能	

検査項目	材料	検体量 (必要最 小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断 値	所要 時間	採取・提出条 件	<u>追加可 能時間</u>	備考
	随时尿	0.2 mL	⑥				該当なし				負荷前、負荷後 120 分で測定
			滅菌スピッツ ⑩6								
ターゲス (血糖日内変動)	血漿	0.3 mL	灰 2 mL 日内 (NaF入り) ⑥	冷蔵	ヘキソ キナーゼ UV 法	(空腹時) 73 mg/dL~ 109 mg/dL	該当なし	至急： 1 時間 以内	時間種を指定 する。	-	朝食前、朝食後、昼食前、昼 食後、夕食前、夕食後、22 時、2 時より選択可能
血中アルコール	血清	0.2 mL	青スピッツ 8 mL ①	冷蔵	酵素法	0 mg/dL	30 mg/dL 以下				
耐糖能精密検査 (インスリン)	血清	0.5 mL	青スピッツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	(負荷前) 5.0 µU/mL~ 10.0 µU/mL	該当なし	至急： 60 分 ~ 90 分	時間種を指定 する。	-	15 分、30 分、45 分、60 分、 90 分、120 分、180 分 より選択可能
TSH 負荷試験	血清	0.5 mL	青スピッツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	(負荷前) 0.38 µIU/ mL ~ 5.38 µIU/mL	該当なし				

検査項目	材料	検体量 (必要最 小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断 値	所要 時間	採取・提出条 件	<u>追加可 能時間</u>	備考
								2 時間			



時間外測定対象項目

免疫学的検査一覧

1.5 免疫グロブリン、補体、血漿蛋白等

検査項目	材料	検体量 (必要最 小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断 値	所要 時間 または 日数	採取・提出条 件	追加可能 <u>時間</u>	備考
C 反応性蛋白(CRP)	血清	0.2 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	ラテックス 比濁法	0.00 mg/dL~ 0.14 mg/dL	該当なし			4 日- 7 日間	
β_2 マイクログロブリ ン (β_2 -MG)	血清	0.5 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	ラテックス 比濁法	2.0 mg/L 以下	該当なし	至急： 1 時間 以内	測定は平日の み、15 時まで	4 日- 7 日間	
	隨時尿		尿コップ ⑩⁹ 滅菌スピツ ⑩⁶			0.2 mg/L 以下				当日	
免疫グロブリン IgG	血清	0.5 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	免疫比濁法	861 mg/dL~ 1747 mg/dL	該当なし		測定は平日の み、15 時まで	4 日- 7 日間	

検査項目	材料	検体量 (必要最 小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断 値	所要 時間 または 日数	採取・提出条 件	<u>追加可能 時間</u>	備考
免疫グロブリン IgA	血清	0.5 mL	青スピッツ 8 mL ①	冷蔵	免疫比濁法	93 mg/dL～ 393 mg/dL	該当なし			4 日- 7 日間	
免疫グロブリン IgM	血清	0.5 mL	青スピッツ 8 mL ①	冷蔵	免疫比濁法	男性:33 mg/dL～ 183 mg/dL 女性:50 mg/dL～ 269 mg/dL	該当なし	至急： 1 時間 以内		4 日- 7 日間	
リウマチ因子(RF)定量	血清	0.5 mL	青スピッツ 8 mL ①	冷蔵	ラテックス 免疫比濁法	15 IU/mL 以下	該当なし	通常： 1 時間 ～ 2 時間		4 日- 7 日間	
シアル化糖鎖抗原 (KL-6)	血清	0.5 mL	青スピッツ 8 mL ①	冷蔵	ラテックス 免疫比濁法	該当なし	500 U/mL 以下			4 日- 7 日間	
フェリチン	血清	0.5 mL	青スピッツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	男性:21.81 ng/mL～ 274.66 ng/mL 女性:4.63 ng/mL～ 204.00 ng/mL	該当なし	至急： 60 分 ～ 90 分 通常：	測定は平日の み、16 時まで	24 時間 (4 日- 7 日間)	分離剤を除去した検体（子 検体）に限り 7 日間追加可 能

検査項目	材料	検体量 (必要最 小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断 値	所要 時間 または 日数	採取・提出条 件	<u>追加可能</u> <u>時間</u>	備考
								1 時間 ～ 2 時間			
直接クームス	全血	3.0 mL (新生児 は 0.5mL)	紫 7 mL ⑦	室温		(-)	該当なし	至急： 30 以内 通常： 1 時間 ～ 2 時間		1 日	冷蔵保存した検体は使用不 可
間接クームス	全血	7.0 mL	紫 7 mL ⑦	室温	カラム凝集 法	(-)	該当なし	至急： 1 時間以 内 通常： 1 時間 ～ 2 時間		4 日間	

検査項目	材料	検体量 (必要最 小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断 値	所要 時間 または 日数	採取・提出条 件	<u>追加可能</u> <u>時間</u>	備考
寒冷凝集素試験	血清	0.5 ml	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	HA 法	256 倍未満	該当なし	2 日～4 日		不可	採血後速やかに血清分離

 時間外測定対象項目

1.6 感染症関連

検査項目	材料	検体量 (必要最小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲 (カットオフ値)	臨床判断値	所要 時間	採取・提出条件	<u>追加可 能時間</u>	備考
HBs 抗原(定性)	血清	0.5 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	(一)	該当なし	至急： 60 分 ～ 90 分	測定は平日のみ、16 時まで (針刺し事例では初 回採血のみ時間外測 定可能)	4 日- 7 日間	
HBs 抗原(定量)						0.05 IU/mL 未満					
HBs 抗体(定性)	血清	0.5 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	(一)	該当なし	通常： 1 時間 ～ 2 時間	測定は平日のみ、 16 時まで	4 日- 7 日間	
HBs 抗体						10.00 mIU/mL 未満					
HBc 抗体（定性）	血清	0.5 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	(一)	該当なし		測定は平日のみ、 16 時まで	4 日- 7 日間	
HBc 抗体						1.00 S/CO 未満					
HBe 抗原（定性）	血清	0.5 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	(一)	該当なし		測定は平日のみ、 16 時まで	4 日- 7 日間	
HBe 抗原						1.000 S/CO 未満					
HBe 抗体	血清	0.5 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	50.0 %INH 未満	該当なし		測定は平日のみ、 16 時まで	4 日- 7 日間	

検査項目	材料	検体量 (必要最 小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲 (カットオフ値)	臨床判断値	所要 時間	採取・提出条件	追加可 能時間	備考				
HCV 抗体（定性）	血清	0.5 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	(-)	該当なし	至急： 60 分 ～ 90 分		4 日 -7 日間					
HCV 抗体						1.00 S/CO 未満									
HIV 抗原・抗体 (定性)	血清	0.5 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	(-)	該当なし	測定は平日のみ、 16 時まで	4 日- 7 日間						
HIV 抗原・抗体						1.00 S/CO 未満									
HTLV 抗体	血清	0.5 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	(-)	該当なし	測定は平日のみ、 16 時まで	4 日- 7 日間						
TP 抗体（定性）	血清	0.5 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	(-)	該当なし								
TP 抗体						1.00 S/CO 未満									
HCV コア抗原	血清	0.5 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	3.00 fmol/L 未満	該当なし	測定は平日のみ、 16 時まで	4 日-5 日間						
プロカルシトニン (PCT)	血清	0.5 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	該当なし	0.50 ng/mL 以 下								
SARS-CoV-2 抗原定量	鼻咽頭	-	専用スワブ	常温	ECLIA 法	該当なし	1.0 COI 未	8 時間 (2 日 間)	分離剤を除去した検体 (子検体) に限り 2 日間 (48 時間) 追加可能	専用綿棒で採取	不可				

検査項目	材料	検体量 (必要最小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲 (カットオフ値)	臨床判断値	所要 時間	採取・提出条件	追加可 能時間	備考
	ぬぐい 液			(採取 後すぐ 提出)			満		し、前処理液にス ワブ部分を完全に 浸した状態で提出		
マイコプラズマ抗体 (IgM)	血清	5 μL	青スピッツ 8 mL ①	冷蔵	イムノクロ マト法	(-)	該当なし	至急： 1 時間 以内 通常： 1 時間 ～ 2 時間		4 日- 7 日間	

□ 時間外測定対象項目

1.7 腫瘍関連検査、ホルモン関連検査

検査項目	材料	検体量 (必要最小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要 時間	採取・提出条件	<u>追加可能 時間</u>	備考
α フェトプロテイン (AFP)	血清	0.5 mL	青スピッツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	0.89 ng/mL～ 8.78 ng/mL	該当なし	至急： 60 分 ～ 90 分	測定は平日のみ、 16 時まで	4 日- 7 日間	
	穿刺液		滅菌スピッツ ⑩6			参考値				当日	
CEA	血清	0.5 mL	青スピッツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	5.00 ng/mL 以下	該当なし	通常： 1 時間 ～ 2 時間	測定は平日のみ、 16 時まで	24 時間 (4 日- 7 日間)	分離剤を除去した検体 (子検体)に限り 7 日間 追加可能
	穿刺液		滅菌スピッツ ⑩6			参考値				当日	
CA19-9	血清	0.5 mL	青スピッツ	冷蔵	CLIA 法	37 U/mL 以下	該当なし		測定は平日のみ、	24 時間	分離剤を除去した検体

検査項目	材料	検体量 (必要最小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要 時間	採取・提出条件	<u>追加可能 時間</u>	備考	
穿刺液		8 mL ① 滅菌スピッツ ⑩6						16 時まで	(4 日- 7 日間)	(子検体) に限り 7 日間 追加可能		
	穿刺液										当日	
PSA	血清	0.5 mL	青スピッツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	4.0 ng/mL 以下	該当なし	至急： 60 分 ～ 90 分 通常： 1 時間 ～ 2 時間	測定は平日のみ、 16 時まで	当日		
サイトケラチン 19 フラグメント(CYFRA)	血清	0.5 mL	青スピッツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	2.08 ng/mL 以下	該当なし		測定は平日のみ、 16 時まで	4 日- 7 日間		
SCC 抗原	血清	0.5 mL	青スピッツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	1.5 ng/mL 以下	該当なし		測定は平日のみ、 16 時まで	24 時間 (4 日- 7 日間)	分離剤を除去した検体 (子検体) に限り 7 日間 追加可能	
	穿刺液		滅菌スピッツ ⑩6			参考値			測定は平日のみ、 16 時まで	当日		
CA15-3	血清	0.5 mL	青スピッツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	31.3 U/mL 以下	該当なし		測定は平日のみ、 16 時まで	24 時間 (4 日- 7 日間)	分離剤を除去した検体 (子検体) に限り 7 日間 追加可能	
CA125	血清	0.5 mL	青スピッツ 8 mL	冷蔵	CLIA 法	35.0 U/mL 以下	該当なし		測定は平日のみ、 16 時まで	24 時間 (4 日- 7 日間)	分離剤を除去した検体 (子検体) に限り 7 日間	

検査項目	材料	検体量 (必要最小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要 時間	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
			①							7日間)	追加可能
PIVKA-II	血清	0.5 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	40 mAU/mL 以下	該当なし		測定は平日のみ、 16 時まで	4 日- 7 日間	
可溶性 IL-2 レセプター (sIL-2R)	血清	0.5 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	ラテックス 免疫比濁凝 集法	204 U/mL~ 587 U/mL	該当なし		測定は平日のみ、 15 時まで	4 日- 7 日間	
HCG	血清	0.5 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	男性：該当なし 女性：5.00 mIU/mL 未満	該当なし		24 時間 (4 日- 7 日間)	分離剤を除去した検体 (子検体) に限り 7 日間 追加可能	
TSH (甲状腺刺激ホルモン)	血清	0.5 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	0.3815 µIU/ mL~ 5.3846 µIU/mL (IFCC 値)	該当なし	至急： 60 分 ~ 90 分 通常：	24 時間 (4 日- 7 日間)	分離剤を除去した検体 (子検体) に限り 7 日間 追加可能	
FT3 (遊離トリヨード サイロニン)	血清	0.5 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	1.68 pg/mL~ 3.67 pg/mL	該当なし		24 時間 (4 日- 6 日間)	分離剤を除去した検体 (子検体) に限り 6 日間 追加可能	
FT4 (遊離サイロキシン)	血清	0.5 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	0.70 ng/dL~ 1.48 ng/dL	該当なし		24 時間 (4 日- 6 日間)	分離剤を除去した検体 (子検体) に限り 6 日間 追加可能	

検査項目	材料	検体量 (必要最小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要 時間	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
インスリン(IRI)	血清	0.5 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	5.0 µIU/mL~ 10.0 µIU/mL	該当なし		測定は平日のみ、 16 時まで。 溶血の影響あり。	当日	溶血の場合低値となる。
ヒト脳性 Na 利尿ペプチド (BNP)	血漿	0.5 mL	紫 7m L ⑦	冷蔵	CLIA 法	18.4 pg/mL 以下	該当なし		溶血の影響を受けるので、採血を行う場合、溶血しないよう注意する。	4 時間	溶血の場合低値になる。
高感度トロポニン I	血清	0.5mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	26.2 pg/mL 以下	該当なし			当日	
TSH レセプター抗体 (TRAb)	血清	0.5 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	3.10 IU/L 未満	該当なし		測定は平日のみ、16 時まで	3 日間	
抗サイログロブリン抗 体 (Anti-Tg)	血清	0.5 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	4.11 IU/mL 未満	該当なし	至急： 60 分 ~ 90 分 通常：	測定は平日のみ、16 時まで	8 時間 (3 日間)	分離剤を除去した検体 (子検体) に限り 3 日間 (72 時間) 追加可能
抗 TPO 抗体 (Anti-TPO)	血清	0.5 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	5.61 IU/mL 未満	該当なし		測定は平日のみ、16 時まで	8 時間 (3 日間)	分離剤を除去した検体 (子検体) に限り 3 日間 (72 時間) 追加可能

検査項目	材料	検体量 (必要最小量)	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要 時間	採取・提出条件	追加可能 <u>時間</u>	備考
サイログロブリン (Tg)	血清	0.5 mL	青スピツツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	3.68 ng/mL～ 64.15 ng/mL	該当なし	1 時間 ～ 2 時間	測定は平日の み、16 時まで	3 日間 (4 日-7 日間)	分離剤を除去した検体 (子検体) に限り 7 日間 追加可能

■ 時間外測定対象項目

2.血液ガス・薬物検査一覧

検査項目	材料	検体量 (必要最 小量)	採取ラベル 容器名(採 取容器)	保存	検査方法	基準範囲 (治療濃度範囲)	臨床判断値	所要 時間	採取・提出 条件	追加可能 <u>時間</u>	備考
ガス分析(動脈)	動脈血	2 mL (1.5 mL)	血液ガス用	不可	電極法		該当なし	至急・通常： 10分以内	採血後、速や かに提出。 キャピラリ ーの場合は 2本採血。	不可	ER、ICU、HCU、集中治療室 で検査を行う場合は、オーダ ー入力を行い、結果の用紙に ラベルを貼付して提出。 キャピラリーの場合は気泡が 入らないように採取。
pH						7.350-7.450					
pCO ₂						35.0 mmHg~ 48.0 mmHg					
pO ₂						83.0 mmHg~ 108.0 mmHg					
HCO ₃ act						21.0 mmol/L~ 28.0 mmol/L					
SBE					計算	-2.0 mmol/L~ 3.0 mmol/L					
ABE						-2.0 mmol/L~ 3.0 mmol/L					
O ₂ (CT)						18.8 Vol% ~ 22.3 Vol%					
sO ₂						95.0 %~99.0 %					
Na					電極法	136 mEq/L~ 146 mEq/L					

検査項目	材料	検体量 (必要最 小量)	採取ラベル 容器名(採 取容器)	保存	検査方法	基準範囲 (治療濃度範囲)	臨床判断値	所要 時間	採取・提出 条件	追加可能 時間	備考
K						3.4 mEq/L~ 4.5 mEq/L		至急・通常: 10分以内			
Cl						98 mEq/L~ 106 mEq/L					
iCa						1.15 mmol/L ~ 1.29 mmol/L					
Glu						70 mg/dL ~ 105 mg/dL					
Lac						0.5 mmol/L ~ 1.6 mmol/L					
Bil					比色法	0.2 mg/dL ~ 1.2 mg/dL					
Hb						13.5 g/dL ~ 17.5 g/dL					
Ht					計算	39.8 % ~ 51.8 %					
AnGap						10.0 mmol/L ~ 20.0 mmol/L					
ガス分析(静脈血)	静脈血	2 mL (1.5)	血液ガス用	不可			該当なし		採血後、速 やかに提	不可	
HCO3act					計算	21.0 mmol/L ~					

検査項目	材料	検体量 (必要最 小量)	採取ラベル 容器名(採 取容器)	保存	検査方法	基準範囲 (治療濃度範囲)	臨床判断値	所要 時間	採取・提出 条件	<u>追加可能</u> <u>時間</u>	備考
		mL)				28.0 mmol/L			出。 キャピラリ ーの場合は 2本採血。		
フェニトイン	血清	0.5 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	該当なし	10.0 μ g/mL ~ 20.0 μ g/mL	至急： 60 分 ~ 90 分 通常： 1 時間 ~ 2 時間	当日 (4 日- 7 日間)	分離剤を除去した検体（子検 体）に限り 7 日間追加可能	
バルプロ酸	血清	0.5 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	該当なし	50 μ g/mL~ 100 μ g/mL		当日 (4 日- 7 日間)	分離剤を除去した検体（子検 体）に限り 7 日間追加可能	
カルバマゼピン	血清	0.5 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	該当なし	4.0 μ g/mL~ 12.0 μ g/mL		当日 (4 日- 7 日間)	分離剤を除去した検体（子検 体）に限り 7 日間追加可能	
ジゴキシン	血清	0.5 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	該当なし	0.5 ng/mL~ 1.5 ng/mL		当日 (4 日- 7 日間)	分離剤を除去した検体（子検 体）に限り 7 日間追加可能	
パンコマイシン	血清	0.5 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	該当なし	10.0 μ g/mL~ 15.0 μ g/mL		当日 (4 日- 7 日間)	分離剤を除去した検体（子検 体）に限り 7 日間追加可能	

検査項目	材料	検体量 (必要最 小量)	採取ラベル 容器名(採 取容器)	保存	検査方法	基準範囲 (治療濃度範囲)	臨床判断値	所要 時間	採取・提出 条件	追加可能 時間	備考
テオフィリン	血清	0.5 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	該当なし	成人：5.0 μg/mL ~ 15.0 μg/mL 乳児（1歳未 満）：5.0 μg/mL ~10.0 μg/mL			当日 (4日-7 日間)	分離剤を除去した検体（子検 体）に限り 7 日間追加可能
メトレキサート	血清	0.5 mL	青スピツ 8 mL ①	冷蔵	CLIA 法	該当なし	24 時間値： 10 μmol/L 以下 48 時間値： 1.0 μmol/L 以下 72 時間値： 0.1 μmol/L 以下	至急： 60 分 ~ 90 分 通常： 1 時間 ~ 2 時間	グルカルビ ダーゼ（カ ルボキシペ チダーゼ G2）投与後 48 時間は提 出不可	2 日間	

 時間外測定対象項目

3.一般検査一覧

3.1 尿一般、便、寄生虫

検査項目	材料	検体量	採取ラベル 容器名(採取容 器)	保存	検査方法	基準範囲 (治療濃度範囲)	臨床判断値	所要 時間 または 日数	採取・提出 条件	追加可能 時間	備考
尿定性	随時尿	10 mL	尿コップ ⑩⁹	室温			該当なし	至急： 10分以内 通常： 30分～ 1時間	生理日は検 査を避け る。 やむをえない 場合は、 検査部へ連 絡する。 最初と最後 の尿は採ら ずに、中間 尿を採取す る。	原則 4時間	
尿糖					グルコース オキシダーゼ 法	(-) 0 g/dL	該当なし				
尿糖半定量					アゾ カップリング 法	(-) 0 mg/dL	該当なし				
ビリルビン					アルカリニト ロプルシド法	(-) 0 mg/dL	該当なし				
ビリルビン半定量					屈折計法	1.005-1.030	該当なし				
ケトン体					ヘモグロビン POD 様作用	(-) 0 mg/dL	該当なし				
ケトン体半定量											
比重											
潜血											
潜血半定量											

検査項目	材料	検体量	採取ラベル 容器名(採取容 器)	保存	検査方法	基準範囲 (治療濃度範囲)	臨床判断値	所要 時間 または 日数	採取・提出 条件	追加可能 時間	備考
pH					複合 pH 指示 薬法	4.5-8.0	該当なし		清浄な尿力 ップに採尿 し、速やか に提出す る。 検査前に大 量のアスコ ルビン酸(ビ タミン C)を 摂取しな い。 検査前に激 しい運動は 避ける。		
尿蛋白					蛋白誤差法	(-)	該当なし				
尿蛋白半定量						0 mg/dL	該当なし				
ウロビリノーゲン					アゾ カップリング 法	(±)	該当なし				
ウロビリノーゲン半定 量						0.1 mg/dL	該当なし				
亜硝酸塩					グリース法	(-)	該当なし				
尿沈渣	隨時尿	10 mL	尿カップ ⑩⁹	室温	フローサイト メトリー法 ・ 鏡検法		該当なし	至急： 1 時間 以内 通常： 1 時間 ～ 2 時間			・時間外は機器法のみ。 ・時間外に提出された検 体で、機器測定不可の もの（高度血尿、濃 度、最低量（約 2mL） 未満）は翌ルーチン帶 に結果報告となりま す。
肺炎球菌抗原定性 (尿・髄液)	尿 髄液	1 mL	尿カップ ⑩⁹	室温	イムノクロマ トグラフィー	(-)	該当なし	至急： 20 分以		当日	

検査項目	材料	検体量	採取ラベル 容器名(採取容 器)	保存	検査方法	基準範囲 (治療濃度範囲)	臨床判断値	所要 時間 または 日数	採取・提出 条件	追加可能 <u>時間</u>	備考
			滅菌スピッツ ⑩6		法			内 通常： 30分～ 1時間			
レジオネラ抗原定性 (尿)	尿	1 mL	尿コップ ⑩9 滅菌スピッツ ⑩6	室温	イムノクロマ トグラフィー 法	(-)	該当なし	至急： 20分以 内 通常： 30分～ 1時間		当日	
妊娠反応	尿	1 mL	尿コップ ⑩9	室温	金コロイド免 疫クロマトグ ラフィー法		該当なし	30分以 内		当日	
尿中薬物スクリーニン グ	尿	1 mL	尿コップ ⑩9	室温	金コロイド粒 子免疫法	(-)	該当なし	30分以 内		当日	
尿中有機リン	尿	1 mL	尿コップ	室温	薄層クロマト	(-)	該当なし	1日		当日	

検査項目	材料	検体量	採取ラベル 容器名(採取容 器)	保存	検査方法	基準範囲 (治療濃度範囲)	臨床判断値	所要 時間 または 日数	採取・提出 条件	追加可能 時間	備考
			(109)		グラフ法						
尿中パラコート (半定量)	尿	1mL	尿コップ (109)	室温	還元法	(-)	該当なし	1日		当日	
便潜血反応	便	拇指頭 大	採便容器 (110) 専用採便管	室温	イムノクロマ ト法	(-)	該当なし	30分以 内		当日	
便中ピロリ抗原	便	拇指頭 大	採便容器 (110) 専用採便管	室温	イムノクロマ トグラフィー 法	(-)	該当なし	30分以 内		当日	
便中白血球	便	拇指頭 大	採便容器 (110)	室温	鏡検法	(-)	該当なし	4時間 以内		当日	時間外は検体受け取り不 可
便脂肪	便	拇指頭 大	採便容器 (110)	室温	鏡検法	(-)	該当なし	4時間 以内		当日	時間外は検体受け取り不 可
寄生虫卵鑑別	便	拇指頭 大	採便容器 (110)	冷蔵	鏡検法	(-)	該当なし	1日		-	蟻虫疑いの場合：起床直後に 専用のセロファンで採取して ください。時間外提出はでき ますが、検査は翌ルーチン帶 となります。
アメーバ検査	便・糞	全量	採便容器	保温	鏡検法	(-)	該当なし	1日		-	事前連絡が必要です。

検査項目	材料	検体量	採取ラベル 容器名(採取容 器)	保存	検査方法	基準範囲 (治療濃度範囲)	臨床判断値	所要 時間 または 日数	採取・提出 条件	追加可能 <u>時間</u>	備考
			(110)								
寄生虫体鑑別	虫体	全量	滅菌カップ (107)	室温	鏡検法	(-)	該当なし	1日	-	-	時間外提出はできます が、検査は翌ルーチン帶 となります。

■ 時間外測定対象項目

3.2 穿刺液(胸水・腹水・心嚢水)、関節液、髄液

検査項目	材料	検体量	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲 (カットオフ値)	臨床判断値	所要 時間 または 日数	採取・提出条件	追加可能 時間	備考
穿刺液検査	胸水 ・ 腹水 ・ 心嚢水	滅菌スピッツ ⑩6	室温		目視	該当なし	該当なし	4 時間 以内	採取後速やかに提出する。 吸引穿刺時は可能な限り体位変換後に採取する。	当日	
性状					フローサイトメトリー法	該当なし	該当なし				
細胞数					フローサイトメトリー法	該当なし	該当なし				
細胞分類 (単核・多核)					屈折計法	該当なし	該当なし				
比重					複合 pH 指示薬法	該当なし	該当なし				
pH											
関節液検査	関節液	2 mL	滅菌スピッツ ⑩6	室温	目視	該当なし	該当なし	4 時間 以内		当日	時間外は検体受け取り不可
性状					鏡検法	(-)	該当なし				
結晶					鏡検法	(-)	該当なし				
白血球分類 (単核・多核)											
髄液	髄液	1 mL	滅菌スピッツ ⑩6	室温	目視	無色 水様透明	該当なし	至急： 1 時間	採取後速やかに提出する。	当日	
色調											

検査項目	材料	検体量	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲 (カットオフ値)	臨床判断値	所要 時間 または 日数	採取・提出条件	追加可能 <u>時間</u>	備考
性状							該当なし	以内	施行後 2 時間は絶対安静とする。		
細胞数					フローサイトメトリー法	新生児 20/ μ L 以下 乳児 10/ μ L 以下 乳児以降 5/ μ L 以下		通常： 1 時間 ～ 2 時間	腰椎穿刺時の禁忌 ・頭蓋内圧の亢進 ・穿刺部に感染症がある場合 ・脊椎に変形や奇形があり、針挿入が困難な場合 ・抗凝固療法や白血病などで出血傾向が強い場合 ・患者の協力が得られない場合		
細胞分類 (単核・多核)					フローサイトメトリー法						



時間外測定対象項目

3.3 その他（鼻汁好酸球、精液、アプト試験）

検査項目	材料	検体量	採取ラベル 容器名 (採取容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要 時間 または 日数	採取・提出条件	<u>追加 可能 時間</u>	備考
鼻汁好酸球数	鼻汁	スライド 1枚	スライドグラス	室温	鏡検法	(-)		4時間 以内	鼻汁をスライドグラスに塗抹し直ちにアルコール中に浸け固定してください。		時間外提出はできませんが、検査は翌ルーチン帯となります。
精液検査	精液	5 mL	滅菌スピッツ ⑩6 滅菌カップ ⑩7	室温	鏡検法			1日	採取時間を容器に記入する。 全量を容器に採取する。 採取後速やかに提出する。 20 ℃～37 ℃で保存する。		
運動率						50 %以上					
精子総数						40×10 ⁶ 以上					
奇形率						85 %以下					

アプト試験	新生児嘔 吐物 ・ 新生児便	200 μL	滅菌スピッツ ⑩6 ・ 滅菌カップ ⑩7	室温				1 日	採取後速やかに提出する。	『母親の血液 (CBC 採血管)』、 『新生児の血液(小 児用 CBC 採血管・ EDTA 毛細管)』の 同時提出が必要で す。 事前連絡が必要で す。
-------	-------------------------	--------	----------------------------------	----	--	--	--	-----	--------------	--

 時間外測定対象項目

4.血液学的検査一覧

4.1 血液一般・形態検査、凝固一般検査、凝固・線溶系検査

検査項目	材料	検体量	採取ラベル 容器名(採取 容器)	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要 時間 または 日数	採取・ 提出条 件	<u>追加可 能時間</u>	備考
血液一般検査(CBC)							該当なし				
白血球数(WBC)	血液	2.0 mL	紫 CBC 2 mL (EDTA-2K 入り) ③ 小児用 紫 CBC 500μL (EDTA-2K 入り) ⑧	室温	2 角度レーザ -FCM 法 および POD 染色に よる FCM 法	3.33×10 ³ /μL - 8.62×10 ³ /μL	該当なし	至急： 20 分以内 通常： 1 時間以内	6 時間		
赤血球数(RBC)					2 角度レーザ -FCM 法	男：4.35×10 ⁶ /μL - 5.55×10 ⁶ /μL 女：3.86×10 ⁶ /μL - 4.92×10 ⁶ /μL	該当なし				
ヘモグロビン濃度(Hb)					シアソフリ -Hb 法	男：13.7 /dL - 16.8 /dL 女：11.6 /dL - 14.8 g/dL	該当なし				
ヘマトクリット値(Ht)					計算	男：40.7 % - 50.1 %	該当なし				Ht(%)=(RBC×MCV) ÷ 10

平均赤血球容積(MCV)					女：35.1 %-44.4 %					
平均赤血球 Hb 量 (MCH)					低角度散乱光測定値の平均	83.6 fL -98.2 fL	該当なし			
平均赤血球 Hb 濃度 (MCHC)					計算	27. 5 pg -33.2 pg	該当なし			MCH=Hb/RBC(×10 ⁶ /μL)×10
血小板数(PLT)					計算	31.7 g/dL -35.3 g/dL	該当なし			MCHC=Hb/Ht×100
血液像(機械・目視分類)(DIFF)	血液 2.0 mL	紫 CBC 2 mL (EDTA-2K 入り) ③ 小児用 紫 CBC 500μL (EDTA-2K 入り) ⑧	室温	2角度レーザ -FCM 法 POD 染色に よる FCM 法	158×10 ³ /μL - 348×10 ³ /μL		該当なし	【機械】 至急： 20 分以内 通常： 1 時間以内 【目視分類】 至急： 1 時間以内 通常： 1~2 時間	4 時間	目視を実施した場合、好中球の結果は、桿状核好中球、分節核好中球の結果となります。
好中球(Neu)					42.4 %-75.0 %		該当なし			
好中球桿状核球(Stab)					0.5 %-6.5 %		該当なし			
好中球分葉核球(Seg)					38.0 %-74.0 %		該当なし			
リンパ球(Ly)					16.5 %-49.5 %		該当なし			
単球(Mo)					2.0 %-10.0 %		該当なし			
好酸球(Eo)					0.0 %-8.5 %		該当なし			
好塩基球(Ba)					0.0 %-2.5 %		該当なし			

網赤血球数(レチクロ)	血液	2.0 mL	紫 CBC 2 mL (EDTA-2K 入り) ③ 小児用 紫 CBC 500μL (EDTA-2K 入り) ⑧	室温	2 角度レーザ -FCM 法 および 吸光度測定	8.8 % -22.0 %	該当なし	【機械】 至急： 20 分以内 通常： 1 時間以内 【目視分類】 至急： 1 時間以内 通常： 1~2 時間		6 時間	
RDW	血液	2.0 mL	紫 CBC 2 mL (EDTA-2K 入り) ③ 小児用 紫 CBC 500μL (EDTA-2K 入り) ⑧	室温	計算	11.6 % -14.0 %	該当なし	【機械】 至急： 20 分以内 通常： 1 時間以内 【目視分類】 至急： 1 時間以内 通常： 1~2 時間		6 時間	RDW-CV(%)=赤血球分布の SD(fL)/MCV(fL)×100

好中球アルカリホスフ アターゼ染色	血液	2.0 mL	紫 CBC2 mL (EDTA-2K 入り) ③ 小児用 紫 CBC 500µL (EDTA-2K 入り) ⑧	室温	朝長法		該当なし	1日	事前に 連絡が 必要。	-	染色時間に約3時間要する ため、検査提出は8:30~14:30 までとします。
NAP Rate						75 %-95 %	該当なし				
NAP Score						150~330	該当なし				
赤血球沈降速度	血液	1.8 mL	血沈 (3.8 %クエン 酸Na入り) ⑪	室温	Westergren 変法	男：2 mm - 10 mm 女：3 mm - 15 mm (1時間値)	該当なし	2時間以内	採血 は、必 ず規定 量採血 する。	2時間	
出血時間	耳朶血				Duke 法	1分～5分以内	該当なし	1日		-	
プロトロンビン時間 (PT)	血漿	1.8 mL	凝固 1.8 mL (3.2%クエン 酸Na入り) ⑤ 小児用凝固 0.9 mL (3.2%クエン	室温	凝固時間測 定法	80 %-120 %	該当なし	至急： 40分以内 通常： 1時間以内	採血 は、必 ず規定 量採血 する。	24 4時 間	
プロトロンビン時間国 際標準比(PT-INR)						該当なし	該当なし				

			酸 Na入り) ⑩								
活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)	血漿	1.8 mL	凝固 1.8 mL (3.2%クエン 酸Na入り) ⑤ 小児用凝固 0.9 mL (3.2%クエン 酸Na入り) ⑩	室温	凝固時間測 定法	24.0 秒-39.0 秒	該当なし	至急： 40分以内 通常： 1時間以内	採血 は、必 ず規定 量採血 する。	4 時間	
フィブリノゲン(Fbg)	血漿	1.8 mL	凝固 1.8 mL (3.2%クエン 酸Na入り) ⑤ 小児用凝固 0.9 mL (3.2%クエン 酸Na入り) ⑩	室温	凝固時間測 定法	200 mg/dL - 400 mg/dL	該当なし	至急： 40分以内 通常： 1時間以内	採血 は、必 ず規定 量採血 する。	4 時間	

アンチトロンビンIII (ATⅢ)	血漿	1.8 mL	凝固 1.8 mL (3.2%クエン 酸 Na 入り) ⑤ 小児用凝固 0.9 mL (3.2 %クエン 酸 Na 入り) ⑩	室温	合成基質法	80 %-130 %	該当なし	至急： 40 分以内 通常： 1 時間以内	採血 は、必 ず規定 量採血 する。	4 時間	
D-ダイマー	血漿	1.8 mL	凝固 1.8 mL (3.2%クエン 酸 Na 入り) ⑤ 小児用凝固 0.9 mL (3.2 %クエン 酸 Na 入り) ⑩	室温	ラテックス 比濁法	1.0 µg/mL 以下	該当なし	至急： 40 分以内 通常： 1 時間以内	採血 は、必 ず規定 量採血 する。	4 時間	
FDP	血漿	1.8 mL	凝固	室温	ラテックス	5.0 µg/mL 未満	該当なし	至急：	採血	4 時間	

			1.8 mL (3.2%クエン 酸 Na 入り) ⑤ 小児用凝固 0.9 mL (3.2 %クエン 酸 Na 入り) ⑩		比濁法			40 分以内 通常： 1 時間以内	は、必 ず規定 量採血 する。	
クロスマキシング	血漿	1.8 mL	凝固 1.8 mL (3.2%クエン 酸 Na 入り) ⑤	室温	凝固時間測 定法	該当なし	該当なし	1 日	採血 は、必 ず規定 量採血 する。	-
小児迅速検査 (CBC・CRP)	血液	20 μL	紫 CBC 2 mL (EDTA-2K 入り) ③ 小児用 紫 CBC 500μL (EDTA-2K 入り)	室温			該当なし	20 分以内		
白血球数(WBC)(迅速)					電気抵抗法	1) ※	該当なし			
赤血球数(RBC)(迅速)					電気抵抗法	1) ※	該当なし			
ヘモグロビン濃度 (Hb)(迅速)					比色法	1) ※	該当なし			
ヘマトクリット値 (Ht)(迅速)					電気抵抗法	1) ※	該当なし			

平均赤血球容積 (MCV)(迅速)			⑧ マイクロチューブ (EDTA-2K入り毛細管で採血後分注) 2) ※	計算	1) ※	該当なし				MCV=Ht/RBC($\times 10^6/\mu\text{L}$) $\times 10$
平均赤血球 Hb 量 (MCH)(迅速)					1) ※	該当なし				MCH=Hb/RBC($\times 10^6/\mu\text{L}$) $\times 10$
平均赤血球 Hb 濃度 (MCHC)(迅速)					1) ※	該当なし				MCHC=Hb/Ht $\times 100$
血液分類(機械分類)			紫 CBC 2 mL (EDTA-2K入り) ③ 小児用 紫CBC 500 μL (EDTA-2K入り) ⑧ マイクロチューブ (EDTA-2K入り毛細管で採血後分注) 2) ※	室温 電気抵抗法		該当なし				
顆粒球(Gra)					1) ※	該当なし				顆粒球に好中球・好酸球・好塩基球を含む
リンパ球(Ly)					1) ※	該当なし				
単球(Mo)					1) ※	該当なし				
		血液	20 μL				20 分以内	-	-	

CRP(迅速)	血液	20 μL	紫 CBC 2 mL (EDTA-2K 入り) ③ 小児用 紫 CBC 500μL (EDTA-2K 入り) ⑧ マイクロチュ ーブ (EDTA-2K 入 り毛細管で採 血後分注) 2) ※	室温	ラテックス 比濁法	1) ※	該当なし	20 分以内	-	
ベビーピリルピン (TB、 UB)	血清		黄色プラスチ ック 500μL ⑨	室温	2 波長分光光 度法	1) ※	該当なし	30 分以内	-	
1) ※：小児科医との同意の元、年齢別に基準値の管理をするのではなく成人の基準値を採用している。但し、患者説明時において個別に結果説明を行っている。										
2) ※：紫 CBC 2 mL (EDTA-2K 入り)・小児用紫 CBC 500μL (EDTA-2K 入り) でも可										



時間外測定対象項目

4.2 骨髄検査

検査項目	材料	検体量	採取ラベル 容器名(採取容 器)	保存	検査方法	基準範囲 (カットオフ値)	臨床判断値	所要 日数	採取・提出条 件	<u>追加可 能時間</u>	備考
骨髄検査	骨髄 穿刺液	0.5 mL	骨髄検査	室温	鏡検法	該当なし	該当なし	1~4 日	骨髄採取時 は、検査技師 がベッドサイ ドで検体処理 します。	/	POD 染色および PAS 染色は 全症例に実施します。 その他必要に応じて以下の染 色を追加します。 (ES、Fe、HE、Pap)
細胞数、分類、所見							該当なし				
特殊染色							該当なし				

5.輸血関連検査一覧

検査項目	材料	検体量	採取ラベル 容器名 (採取容器)	保存	検査方 法	基準範囲 (カット オフ値)	臨床判断値	所要 時間	採取・提出条件	<u>追加可 能時間</u>	備考
血液型 ABO、RhD	全血	2.0 mL (児は1歳未満で 0.5mL、1歳以上で 1.0 mL)	血型 2 mL	室温	カラム 凝集法	該当なし	該当なし	至急： 30分 以内 通常： 1時間	血液型初回と2回目は 同時に採血しない。	原則 不可	検査結果によっては、追加 の採血が必要になることが あります。
不規則抗体検査	全血	7.0 mL	紫7mL	室温	カラム 凝集法	(-)	該当なし	至急： 1時間 以内 通常： 1時間 ～2時 間		原則 不可	不規則抗体の同定には、さ らに2時間～3時間程度要 する場合があります。

検査項目	材料	検体量	採取ラベル 容器名 (採取容器)	保存	検査方 法	基準範囲 (カット オフ値)	臨床判断値	所要 時間	採取・提出条件	<u>追加可 能時間</u>	備考
交差適合試験	全血	3.0 mL	紫 7 mL	室温	カラム 凝集法	該当なし	該当なし	至急： 1 時間 以内 通常： 1 時間 ～2 時 間		原則 不可	「交差試験用ラベル」にて 検体オーダーを行う。
輸血前保存用	全血	3.0 mL	黄色 7 ml 輸血前保 存用専用	室温	/	該当なし	該当なし	/	採取容器は、遵守する。 輸血前に採血する。	原則 不可	黄色ゴム栓の採血管と間違 えないよう注意すること



時間外測定対象項目

6.微生物関連検査一覧

6.1 一般細菌検査

検査項目	材料	検体量	容器	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要日数	採取・提出条件	追加可能時間	備考
塗抹鏡検	生検体	-	各種培養に準 する	冷蔵 (採取後 すぐ提出)	グラム染色 (フェイバー 法)	該当なし	該当なし	30分- 2日間	原則、採取後 は速やかに提 出する。 目的菌が淋 菌、髄膜炎 菌、赤痢アメ ーバ等の場合 は検査室に連 絡し、できる だけ速やかに 室温で提出す る。	原則 不可	
好気性菌 培養・同定	喀痰、 吸引痰など	≥1 mL	滅菌スピッツ ⑩6 滅菌カップ ⑩7	冷蔵 (採取後 すぐ提出)	生化学的性状に による同定	該当なし	該当なし	3日 ～7日	・原則抗菌薬 投与前に採取 する。 ・原則、検体 採取後は速や	原則 不可	

検査項目	材料	検体量	容器	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要日数	採取・提出条件	追加可能時間	備考
	鼻汁、鼻腔、咽頭など	- \geq 0.5 mL	カルチャースワブ 滅菌スピツツ	冷蔵 (採取後すぐ提出)		該当なし	該当なし	3日～7日	かに提出する。 ・目的菌がある場合は、才一ダードを入力する際に入力する。	原則不可	中間報告：結果が変わる可能性のある暫定的な報告
	糞便	便：小指頭大(約1g)	採便容器 滅菌コップ	冷蔵 (採取後すぐ提出)	生化学的性状による同定	該当なし	該当なし	3日～7日	・目的菌が、淋菌、髄膜炎菌、赤痢アメーバ等の場合	原則不可	最終報告：基本的にはこれ以上変更のない結果
	尿、カテーテル尿、腎盂尿など	\geq 1 mL	滅菌コップ 滅菌スピツツ ⑩6	冷蔵 (採取後すぐ提出)	生化学的性状による同定	該当なし	該当なし	3日～7日	は、検査室に連絡し、可能な限り早く検体を室温で提出する。	原則不可	同定・感受性を行なうかの判断は微生物検査室で行っています。
	その他生殖器からの検体	\geq 1 mL	滅菌スピツツ ⑩6 カルチャースワブ	冷蔵 (採取後すぐ提出)		該当なし	該当なし	3日～7日		原則不可	同定・感受性についていない菌で、必要な場合は、最終報告日から <u>1週間以内</u> であれば追加可能です。
	血液	1 ポトルあたり10 mL (小児：最大4	血液培養ボトル	室温 (採取後すぐ提出)	生化学的性状による同定	該当なし	該当なし	3日～7日		原則不可	

検査項目	材料	検体量	容器	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要日数	採取・提出条件	追加可能時間	備考
		mL)									
	髓液	≥2 mL	滅菌スピッツ ⑩6	室温 (採取後 すぐ提出)		該当なし	該当なし	3日 ～7日		原則 不可	
	その他穿刺液 (胸水、腹水、関節液、胆汁など)	≥0.1 mL	滅菌スピッツ ⑩6	冷蔵 (採取後 すぐ提出)		該当なし	該当なし	3日 ～7日		原則 不可	
	その他の材料 (膿、眼脂、耳分泌物、皮膚など)	≥1 mL	滅菌スピッツ ⑩6 カルチャース ワブ 滅菌シャーレ	冷蔵 (採取後 すぐ提出)	生化学的性状による同定	該当なし	該当なし	3日 ～7日		原則 不可	
嫌気性菌 培養・同定	好気性菌培養に 準ずる	好気性菌 培養に準 する	好気性菌培養 に準ずる	冷蔵 (採取後 すぐ提出)	生化学的性状による同定	該当なし	該当なし	5日 ～8日		原則 不可	
薬 剤 感 受 性	1 菌種	菌株	該当なし	該当なし	該当なし	微量液体 希釀法	該当なし	該当なし		原則 不可	・便や口腔気道系 検体の常在菌及び 真菌の薬剤感受性 試験は院内では実 施していません。
	2 菌種	菌株	該当なし	該当なし	該当なし	微量液体 希釀法	該当なし	該当なし		原則 不可	
	3 菌種	菌株	該当なし	該当なし	該当なし	微量液体	該当なし	該当なし		原則	

検査項目		材料	検体量	容器	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要日数	採取・提出条件	追加可能時間	備考
試験	以上					希釈法			~7日		不可	・検出された菌により検査する抗菌薬は変わります。

6.2 抗酸菌検査

検査項目		材料	検体量	容器	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要日数	採取・提出条件	追加可能時間	備考
塗抹鏡検	生検体	-	一般細菌に準する	冷蔵 (採取後すぐ提出)	蛍光染色、チルネルゼン染色	該当なし	該当なし	1日 ~3日	塗抹：平日 15:30までの提出	原則不可	・血液材料の場合 は抗凝固剤なしの滅菌容器で提出する。 ※ガルチャーボトルでの提出は不可	
分離培養	生検体	-	一般細菌に準する	冷蔵 (採取後すぐ提出)	2%小川培地	該当なし	該当なし	1週間 ~ 8週間	遺伝子検査： 平日 13:00までの提出	原則不可		
結核菌 遺伝子検査	生検体 菌株	-	一般細菌に準する	冷蔵 (採取後すぐ提出)	TRC 法	該当なし	該当なし	1日 ~3日	で当日検査可能 ※時間外・ 土・日・祝 検査不可 必要な場合は 検査室へ要電話連絡	原則不可		
MAC 遺伝子検査	生検体 菌株	-	一般細菌に準する	冷蔵 (採取後すぐ提出)	TRC 法	該当なし	該当なし	1日 ~3日	土・日・祝 検査不可 必要な場合は 検査室へ要電話連絡	原則不可		

6.3 真菌検査

検査項目	材料	検体量	容器	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要日数	採取・提出条件	<u>追加可能時間</u>	備考
塗抹鏡検	生検体	-	一般細菌に準ずる	冷蔵	グラム染色または 生標本鏡検	該当なし	該当なし	1日 ~2日		原則不可	
分離培養・同定	生検体	-	一般細菌に準ずる	室温 (採取後すぐ提出)	クロモアガー カンジダプラス、 PDA を使用	該当なし	該当なし	4日 ~20日		原則不可	

6.4 迅速、スクリーニング検査

検査項目	材料	検体量	容器	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要時間または日数	採取・提出条件	追加可能時間	備考
MRSA スクリーニング	鼻腔、咽頭、 喀痰、膿	-	カルチャースワブ	冷蔵 (採取後すぐ提出)	MS-CFX 寒天培地 を使用	(-)	(-)	2日 ～3日		原則 不可	
カンジダ スクリーニング	膣分泌物、口腔	-	カルチャースワブ	冷蔵 (採取後すぐ提出)	クロモアガーカンジ ダプラス寒天培地を 使用	(-)	(-)	2日 ～5日		原則 不可	
B群溶連菌 スクリーニング	膣分泌物		カルチャースワブ	冷蔵 (採取後すぐ提出)	5%ヒツジ血液 寒天培地を使用	(-)	(-)	2日 ～3日		原則 不可	
A群β溶血レンサ球菌 抗原	咽頭ぬぐい液	-	キット付属専用 スワブ	冷蔵 (採取後すぐ提出)	イムノクロマト グラフィー法	陰性	該当なし	1日	専用綿棒で採取	不可	
インフルエンザ ウイルス抗原	鼻腔ぬぐい液 咽頭ぬぐい液	-	キット付属専用 スワブ	冷蔵 (採取後すぐ提出)	イムノクロマト グラフィー法	A(-) B(-)	該当なし	1日	専用綿棒で採取	不可	
アデノウイルス 抗原	鼻腔吸引液 鼻腔ぬぐい液 咽頭ぬぐい液 角結膜ぬぐい液	-	キット付属専用 スワブ	冷蔵 (採取後すぐ提出)	イムノクロマト グラフィー法	陰性	該当なし	1日	専用綿棒で採取	不可	
RSウイルス抗原	鼻腔ぬぐい液	-	キット付属専用 スワブ	冷蔵 (採取後すぐ提出)	イムノクロマト グラフィー法	陰性	該当なし	1日	専用綿棒で採取	当日 (鼻汁)	鼻汁液でも可

検査項目	材料	検体量	容器	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要時間または日数	採取・提出条件	追加可能時間	備考
ヒトメタニьюモ ウイルス抗原	鼻腔ぬぐい液	-	キット付属専用 スワブ	冷蔵 (採取後すぐ提出)	イムノクロマト グラフィー法	陰性	該当なし	1日	専用綿棒で採取	当日 (鼻汁)	鼻汁液でも可
肺炎球菌抗原定性 (尿・髄液)	尿 髄液	1 mL	尿カップ ⑩⁹ 滅菌スピツツ ⑩⁶	室温 (採取後すぐ提出)	イムノクロマト グラフィー法	(-)	(-)	1日		当日	
レジオネラ抗原定性 (尿)	尿	1 mL	尿カップ ⑩⁹ 滅菌スピツツ ⑩⁶	室温 (採取後すぐ提出)	イムノクロマト グラフィー法	(-)	(-)	1日		当日	
ロタウイルス 抗原定性(糞便)	糞便	-	採便容器	室温 (採取後すぐ提出)	イムノクロマト グラフィー法	(-)	(-)	1日	スワブでの検査 は不可	当日	
アデノウイルス 抗原定性(糞便)	糞便	-	採便容器	室温 (採取後すぐ提出)	イムノクロマト グラフィー法	(-)	(-)	1日	スワブでの検査 は不可	当日	
CD 抗原・トキシン・ 培養セット	糞便	約 1 g	採便容器	冷蔵 (採取後すぐ提出)	イムノクロマト グラフィー法	該当なし	該当なし	1日	スワブでの検査 は不可	当日	

検査項目	材料	検体量	容器	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要時間または日数	採取・提出条件	追加可能時間	備考
ノロウイルス 抗原	糞便	-	採便容器 直腸便用スワブ	冷蔵 (採取後すぐ提出)	イムノクロマト グラフィー法	陰性	該当なし	1日	糞便がとれない 場合、 直腸便用スワブ でも可	当日	
デングウイルス 抗原定性	全血 血清	0.2 mL	紫 血算 2mL (EDTA-2K入り) ① 青スピッツ 8 mL ③ (プレーン管)	室温 (採取後すぐ提出)	イムノクロマト グラフィー法	(-)	(-)	1日		7日	検査の際は 検査科へご 連絡ください。
SARS-CoV-2 遺伝子（PCR）検査	鼻咽頭ぬぐい液		専用スワブ	冷蔵 (採取後すぐ提出)	リアルタイム PCR 法	該当なし	該当なし	1日	専用綿棒で採取	不可	
髄膜炎スクリーニング	髄液	0.2 mL	滅菌スピッツ ⑩⑥	冷蔵	Nested PCR 法	該当なし	該当なし	1日	平日 15：30 までの提出 土曜（微生物勤務時）11:00 まで	不可	

検査項目	材料	検体量	容器	保存	検査方法	基準範囲	臨床判断値	所要時間または日数	採取・提出条件	追加可能時間	備考
呼吸器感染症スクリーニング	鼻咽頭ぬぐい液		専用スワブ	冷蔵	Nested PCR 法	該当なし	該当なし	1 日	での提出	不可	

 時間外測定対象項目

7.病理関連検査一覧

7.1 細胞診検査

検査項目	材料	検体量 mL	容器	保存	検査方法	所要 日数	採取・提出条 件	追加 可能 時間	備考
細胞診(婦人科)	子宮頸部、 子宮体部 (EM)、 腔断端、 外陰部、 その他	ブラシ 擦過	BD 専用ボトル	室温	パパニコロウ染色	3日～ 10日	擦過後、ブラ シを直ちに専 用ボトルに入 れる。	2週 間	
細胞診(喀痰)	喀痰	-	喀痰容器又は シャーレ	室温	パパニコロウ染色	3日～ 10日		当日	
一般細胞診	擦過物	塗抹標 本 (湿固 定)	スライドガラス	室温	パパニコロウ染色	3日～ 10日	塗抹後直ちに 95 %アルコー ルで固定す る。	鉛筆でスライドガラスへの名前の記入を お願いします。	
	穿刺液(胸 水、腹水、髄 液、胆汁な ど)、尿、洗	5 mL 以上※	滅菌スピッツ ⑩6 滅菌コップ 尿コップ	室温	パパニコロウ染色 PAS 染色 ギムザ染色	3日～ 10日		当日	※検体に関しては提出された量に応じて 処理を行う。

検査項目	材料	検体量 mL	容器	保存	検査方法	所要 日数	採取・提出条 件	追加 可能 時間	備考
	浄液、その他								
	気管支洗浄・ 擦過	擦過:塗 抹標本	スライドガラス スピッツ	室温	パパニコロウ染色 Diff – Quik 染色				
捺印細胞診 (リンパ節等)	組織 (未固定)	-	シャーレなど	室温	パパニコロウ染色 HE 染色 ギムザ染色	3 日 ~ 10 日	生食で浸した ガーゼに包 む。	-	悪性リンパ腫の検査の場合、事前連絡が 必要です。
術中迅速細胞診	洗浄腹水、 洗浄胸水	5 mL 以上※	滅菌スピッツ ⑩6 滅菌カップなど	室温	迅速パパニコロウ 染色	30 分 ~1 時間程 度 (電話連絡)		-	事前連絡が必要です。 ※検体に関しては提出された量に応じて 処理を行う
気管支鏡検査	気管支肺胞 洗浄液 (BAL)	5 mL 以上※	滅菌スピッツ ⑩6 滅菌カップなど	室温	パパニコロウ染色 ギムザ染色 Fe 染色 CD4/CD8 (フローサイト)	1 日~3 日	採取した検体 は、直ちに提 出する。	-	必要に応じて細胞分類を行い、当日報告 します。※検体に関しては提出された量に応 じて処理を行う CD4/CD8(フローサイト)は委託検査で行 います。(提出は 15:00 まで)

7.2 病理組織検査

検査項目	材料	容器	保存	検査方法	所要日数	採取・提出条件	備考
病理組織	生検組織 手術材料	ホルマリンの入った 蓋付き容器	室温	HE 染色 特殊染色 免疫組織化学染色	生検：4 日～ 7 日 手術：10 日 ～21 日	組織をホルマリ ンに浸して提出 する。	
術中迅速組織診	手術材料	生食で浸したガーゼ に包む又はシャーレ にそのまま入れる	室温	迅速 HE 染色	1 部位につき 30 分程度	組織をそのまま提 出する。 (ホルマリン不要)	事前連絡が必要です。 必ず永久標本を作製する為、通常病理 組織のオーダーも行ってください。
セルブロック	穿刺液 (胸水、腹水など)	滅菌スピッツ ⑩⑥ 滅菌コップなど	室温	HE 染色 特殊染色 免疫組織化学染色	5 日～10 日		細胞成分が多い液状検体であれば作 製可能
標本診断	染色済 標本		室温	鏡検	2 日～4 日	スライドガラス が割れないよう な容器に入れて 提出する。	診断のみ行います。 前医での病理診断書を必ず提出くだ さい。
病理解剖	採取臓器	ホルマリンの入った 容器	室温			解剖内容により、最 終診断報告日数がか わります。詳細は解 剖後、病理へ問い合わせください。	・解剖開始時間は病理医と相談してください。 ・解剖に要する時間は通常 3-4 時間です。 ・解剖に関する遺族の承諾書を提出してくださ い。 ・時間外は守衛室を通して病理医に連絡してく ださい。

